

## 2025 年度ゼミ（演習 1）要覧

担 当 者 名	青柳 寛
演習テーマ	民族誌的アプローチによる地域文化探究演習のための地盤づくり
演習の内容	「学びのホームルーム」および「卒論研究萌芽スタジオ」の双方を兼ねた本ゼミでは、3 年次以降のゼミで本格的に取り組んで参ります地域文化を対象とした民族誌的探究に備える意味で、地域の文化と社会、あるいは歴史をリアルな体験を介して捉え考えていくために欠かせない人間学的な基礎知識とアカデミックスキルを身につけて参ります。「文化」を抛り所に将来「地域づくり」に何らかの形で関わることを本気で考えてみたい貴君は、ぜひ「入会」のご検討を！
テキスト・参考書	一同で幅広く資料・史料を検索しながら、自前のテキストブックこと「マイ・エスノグラフィック・ジャーナル（MEJ）」を編纂して参ります。
成績評価の基準	参加度（60%）、ジャーナル（40%）
校 外 実 習	（実施しない）ただし、ゼミ単位の実習/ Field trip あり
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	N/A
選考方法	<p>★説明会への参加および理由書の提出を以て 15 名を上限とする選考を行います。文化探究を通して積極的にご自身の人生紡ぎを構想・計画している貴君を、その本気度を基準に選定いたします。</p> <p>★12 名を超えた場合は、履修根拠に関する面談や過去の関連科目履修経歴、あるいは成績状況などを確認しながら対応いたします。</p> <p>※履修を希望のみなさまにおかれては、入ゼミの意義や、卒論研究の課題、あるいはご自身のライフワークについてよく構想した上でご応募ください。</p>
小論文 （テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	上記した本ゼミの主旨・目的に鑑みつつ、ご自分の履修に関する「理由書」（自由形式、ただし A4-Word12 フォント文字サイズでタイプ打ちし 1 枚：表裏使用可能）をご用意ください。どのような目的意識と将来構想を持ち、なぜこのゼミがご自身のためになるのか、そして私青柳に何を求めて本ゼミを選びたいのか、理由書に明記の上で説明会にいらしてください。 <u>理由書は説明会時に必ず持参してください！</u>
メールアドレス	aoyagihr@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・ オフィスアワー	<p>1-1) 5 月 15 日（木）、22 日（木）：第 1 次説明会：昼休みと 5 限目@8 号館 5 階ラウンジ</p> <p>1-2) 5 月 23 日（金）～25 日（日）：第 1 次募集申込受付（manaba のレポート機能）</p> <p>1-3) 5 月 28 日（水）～ 6 月 3 日（火）：第 1 次募集選考</p> <p>1-4) 6 月 5 日（木）：第 1 次募集の結果発表</p>

	2-1) 6 月 12 日 (木) : 第 2 次説明会 : 昼休みと 5 限目 @8 号館 5 階ラウンジ 2-2) 6 月 13 日 (金) ~15 日 (日) : 第 2 次募集申込受付 (manaba のレポート機能) 2-3) 6 月 17 日 (火) ~22 日 (日) : 第 2 次募集選考 2-4) 6 月 25 日 (水) : 第 2 次募集の結果発表
履修済・履修中であることが望ましい授業	文化研究の基礎、比較文化・文化人類学系科目、地域研究関連科目、多文化共生関連科目、日本語教員養成関連科目、専門外国語 ※いずれも「ただ履修した!」というのではなく、そこでどんな知識や心構えを得られたか明示してください。
2026・2027 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	なし
認定留学期間中(演習 2・3 開講学期中)の <u>遠隔指導*</u>	打ち合わせの上で可
備考	駆け込み、傍観癖履修は御免蒙ります! 人生についてよく展望し、文化に携わるライフワークや目的意識を自問・明示の上でおいでください!

\* 「遠隔指導」については、「演習 1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。